

話し合いを深めるための聞き方について考え、実行する。	相手を納得させる意見の構成について考え、実行する。	学習の必然をもたせる・話題の設定		次 時
<p>4 (本時)</p> <p>報告会に向けて複数の案をまとめるためには、話し合いの終結を意識した質問をすることを理解して実践することができ</p>	<p>3</p> <p>限られた時間の中で自分の考えを相手に理解させるには、意見の根拠となる具体的な事実を話すことが必要なことを理解し、実践することができる。</p>	<p>2</p> <p>話し合っ解決していきたい話題に対しての自分の意見や根拠を書きまとめることができる。</p>	<p>1</p> <p>前期の生活を振り返る中で、改善したいことを出し合い、「グループ・ディスカッション」の形式について理解することができ</p>	<p>ねらい</p>
<p>主な学習活動 学習課題</p>				
<p>①前時のグループ・ディスカッションを振り返る。 誰もが納得する結論に導くためにはどのような質問をするかよいのだろう。 ②映像を見ながら、意見に対する質問を考える。 ・方法と利点や問題点という2つの視点から質問をすることを確認する。 ③質問をすることのよさを踏まえて、質問をする上で大切にしたいことを考える。 ・質問することそれぞれの案がより具体的になる。</p> <p>それぞれの意見を詳しく聞き出し、より具体的な意見にして報告できるようにすることが大切。</p> <p>④グループ・ディスカッションを行う。 ⑤報告会を行う。 ⑥まとめを書く。</p> <p>前回のグループ・ディスカッションではなかなか話し合いがまとまらなかったけど、報告会で報告する内容を意識しながら質問することで、話し合いながらグループの結論につなげることができた。</p>	<p>①グループ・ディスカッションの特性を確認する。 ・司会と書記がいる。・時間が限られている。 限られた時間の中で、相手に自分の考えを納得させるにはどのように話せばよいのだろう。 ②グループ・ディスカッションを行う。 ③中間交流会で自分が納得させられた話し方について交流する。 ・具体的な例を挙げながら話したので納得できた。 ・具体的な方策を根拠にするとイメージをもちやすくて納得できた。 ④中間交流で話し合ったことを実践するためにグループ・ディスカッションを行う。 ⑤報告会をする。 ⑥まとめを書く。</p> <p>具体的な例を挙げながら根拠を示すと自分の意見が相手に分かりやすくなり、納得されやすくなった。</p>	<p>①話し合っ解決をめざす話題を確認する。 話題に対しての自分の「意見」や「根拠」を整理し、まとめよう ②これから話し合っいく話題に対しての自分の「意見」や「根拠」を書きまとめる。 (例)・教室環境を美しくするためにどんなことが出来るのか ・グリーン活動で育てた花を今後どうするのか ・図書館の利用者数を増やすにはどうすればよいのか ・朝活前の時間を有効に使うには ③話題ごとに「司会者」「記録者」を決める。</p> <p>限られた時間の中で、解決に導くための話し合いとは、どのようなものだろうか。</p>	<p>①前期の生活を振り返り、改善したいことを出し合う。 ・休み時間の過ごし方について考えたい。 ・グリーン活動で育てた花を今後どうするのか決めたい。 ・図書館の利用者数を増やしたい。 ・美しい教室環境を常に保つには。 グループ・ディスカッションという話し合いの方法を知り、単元の見通しをもとう。</p> <p>②「グループ・ディスカッション」の形式について知る。 ③自分が考える「上手な話し合い」について交流する。</p>	<p>評価規準及び手立て</p> <p>《評価規準》 小集団でそれぞれが役割をもち、限られた時間の中で話し合うという、グループ・ディスカッションの特質を理解している。 (発言・ノート)</p> <p>《手立て》 グループ・ディスカッションのモデル映像を見せ、役割や時間の設定があることに着目させる。</p>
<p>《評価規準》 報告会で報告する、方法や利点、問題点に着目して質問をすることができている。 (発言・ワークシート)</p> <p>《手立て》 自分の考えとの共通点や相違点に着目できるようにメモを配布し、必要に応じて質問や助言につなげられるようにする。</p> <p>《評価規準》 意見を裏付けるための根拠として具体例を挙げながら話すことができる。 (発言・ワークシート)</p> <p>《手立て》 机間指導をしながら身近な例を挙げながら話すよう助言する。</p> <p>《評価規準》 話題に対しての自分の考えを「意見」「根拠」に分類して書いている。 (ワークシート)</p> <p>《手立て》 机間指導をしながら「意見」「根拠」と順序立てて書いていくように助言する。</p>				

<p>学んだことを、日常生活へと結び付ける。</p>	<p>全員が納得する解決に導く話し合いを考え実行する。</p>	<p>次 時 ねらい</p>
<p>6</p> <p>これまでのグループ・ディスカッションを振り返り、「後期に大切にしたいこと」の話し合いを通して、後期の生活への意欲や話し合いの仕方について自分の考えをもつことができる。</p>	<p>5</p> <p>限られた時間の話し合いで何らかの方向を出すためには、話し合いの展開に応じて自分の発言と相手の発言を結び付けながら考えをまとめることが必要なことを理解して実践することができる。</p>	
<p>①前時を振り返り、限られた時間の中で何らかの方向を出すためには、話題や方向をとらえて的確に話し合うことを確認する。</p> <p>②話題や方向をとらえて的確に話し合った姿を交流する。</p> <p>・具体的な例を挙げながら話す。</p> <p>・共通点や相違点を挙げながら質問する。</p> <p>・互いの意見を結び付けながら自分の考えをまとめる。</p> <p>③これまでの話し合いで理解したことを活用して「後期大切にしたいこと」を議題にグループ・ディスカッションを行う</p> <p>④まとめを書く。</p> <p>後期の生活の中では、「人のため」という意識を強くもって活動することにより良い生活が送れると思います。また、新たな班の中でも、今回学んだグループ・ディスカッションを生かして班の目標や学級のオリジナル活動である「夢ふれあいの日」の活動内容を考えるときにもいかしていきたいと思えました。</p>	<p>①前時を振り返る。</p> <p>・質問や助言を挙げていくと時間内に意見がまとまらなかった。</p> <p>②話題をとらえて話し合う視点でグループ・ディスカッションをすることを確認する。</p> <p>限られた時間の中で全員が納得できる解決に導くためにはどのように話し合えばよいのだろうか。</p> <p>③前時の映像を見て、それぞれの意見の共通点をもとにまとめる。</p> <p>・理由は違うけど、方法が同じ。→どちらの思いも実現することができない。</p> <p>・方法は違うけど、理由が同じ。→その思いを実現するためによりよい方法はどちらか、または二つの方法を結び付けることはできないか。</p> <p>④グループ・ディスカッションを行う</p> <p>⑤報告会を行う。</p> <p>⑥まとめを書く。</p> <p>違ふ意見であっても結び付けて考えることによって、新たな考えにつながったり、互いに納得できたりし、限られた時間内でも互いに納得できる結論を導き出すことができた。</p>	<p>主な学習活動</p> <p>学習課題</p>
<p>《評価規準》</p> <p>これまでのグループ・ディスカッションを振り返り、「後期の生活で大切にしていきたいこと」の話し合いを通して、後期の意欲や話し合いの仕方について自分の考えをもつことができている。</p> <p>(発言・ワークシート)</p> <p>《手立て》</p> <p>これまで学んできた「聞き方・話し合い方」を掲示し、後期の生活のどのような場面で話し合いができておっかと助言する。</p>	<p>《評価規準》</p> <p>議題に対し、異なる立場で述べられる仲間の意見から、共通する話題を見出し自分の意見とつなげながら話し合いを進めることができる。</p> <p>《手立て》</p> <p>それぞれの「根拠」の部分に着目して仲間の意見を聞かせ、そのメモからキーワードを見つけ、比較させることで共通の話題を見出せるようにする。</p>	<p>評価規準及び手立て</p>